

7. 教育職員免許状取得のための履修案内

〈工 学 系〉

工学系専攻の各コースで取得できる専修免許状の種類は、下表のコース名横に（ ）で記載しています。

専修免許状の取得に必要な「教科に関する科目」として使用できる科目は、下記のとおりです。

生産環境工学専攻	物質生命工学専攻	電子情報工学専攻
機械工学コース（工業） システム動力学 機械振動学 現代制御理論 知能機械システム学 福祉社工学 粘性流体力学 統計熱力学 燃焼工学 計算熱力学 伝熱工学特論 発展流体力学 材料強度学 先端加工学 機能材料工学概論 先端塑性工学特論 材料力学特論 先端材料学 機械工学講究Ⅰ 機械工学講究Ⅱ 技術英語プレゼンテーション 応用数学特論Ⅰ 応用数学特論Ⅱ 船舶操縦制御特論	機能材料工学コース（工業） 磁性材料工学特論 結晶解析学特論 金属材料工学特論 セラミックス工学特論 化学材料工学特論 電気電子材料工学特論 先端機能材料工学特論 研究教育能力開発実習 材料創成・評価技術実習 科学技術コミュニケーション実習 技術英語プレゼンテーション 機能材料工学セミナー 安全衛生管理特別講義 応用数学特論Ⅰ 応用数学特論Ⅱ 応用化学コース（理科） 有機化学特論Ⅰ 有機化学特論Ⅱ 高分子化学特論Ⅰ 高分子化学特論Ⅱ 無機化学特論Ⅰ 無機化学特論Ⅱ 分析化学特論 物理化学特論Ⅰ 物理化学特論Ⅱ 化学工学特論 生物工学特論 生物化学特論Ⅰ 生物化学特論Ⅱ Introduction to Applied Chemistry 分光物理化学特論 電子物性化学特論 有機構造化学特論 有機反応化学特論 天然物化学 分析化学特論 生命化学特論 環境化学特論 有機機能化学特論 有害物質動態論 核酸化化学特論	電気電子工学コース（工業） プラズマ工学特論 高電圧工学特論 回路システム特論 電気電子材料特論 半導体デバイス特論 情報通信システム特論 デジタル信号処理特論 光・電磁波動特論 電気電子工学特別演習Ⅰ 電気電子工学特別演習Ⅱ 応用数学特論Ⅰ 応用数学特論Ⅱ 最適化数学特論 電子回路応用特論 電気回路応用特論 電磁気学応用特論 情報工学コース（情報） 計算機システム特論Ⅰ 計算機システム特論Ⅱ 分散処理システム特論 画像処理・理解特論Ⅰ 画像処理・理解特論Ⅱ 知的情報処理システム特論Ⅰ 知的情報処理システム特論Ⅱ ソフトウェアシステム特論Ⅰ ソフトウェアシステム特論Ⅱ 知的コミュニケーション特論 計算科学特論 情報基盤システム特論 Topics in Computer Science 情報工学特別ゼミナールⅠ～Ⅳ 情報工学特別演習Ⅰ～Ⅱ 技術英語プレゼンテーション 電子情報工学特別演習Ⅰ 電子情報工学特別演習Ⅱ
環境建設工学コース（工業） 防災・減災工学 社会基盤デザイン原理 実践アセットマネジメント 新エネルギーと都市デザイン 生物多様性と人間活動 行動科学論 システム工学論 地域マネジメント論 サステナブル地域マネジメント演習 公共ガバナンス論 環境動態シミュレーション 固体数値シミュレーション 環境建設工学ゼミナール 環境建設工学特別実験 技術英語プレゼンテーション 応用数学特論Ⅰ 応用数学特論Ⅱ		

基礎資格と最低修得単位数

免許状の種類	基礎資格	最低履修単位数
		教科に関する科目
高等学校教諭専修免許状	修士の学位を有すること。	24 単位

(注)専修免許状を取得するためには、免許状の種類・教科が同じ一種免許状を取得しているか取得要件を満たしておく必要があります。